

10/24 | おうちの人と一緒に  
わくわくひろば ミニ運動会



みんなでボールを集めた玉入れ

村子育て支援センター「わくわくひろば」(総合福祉温泉センター「ウィナス」隣)で、ミニ運動会が開催されました。

親子の交流や育児の情報交換の支援を目的とした同センターは毎月さまざまな行事を行っています。

ミニ運動会当日は乳幼児から就学前の子どもたちと保護者20組55人が参加。かけっこや玉入れ、パン食い競走などを一緒に楽しみました。

10/20 | 人と人のつながりを守りたい  
南阿蘇大復興祭2019



開会式で行われた餅投げ

「南阿蘇大復興祭2019」(主催 南阿蘇大復興祭実行委員会)が、道の駅「あそ望の郷くぎの」で開催されました。

イベントを運営するのは、熊本地震で農学部キャンパス(黒川)が被害を受けた東海大学生。震災から3年半が経過し、地震を経験した学生は卒業しましたが、経験していない学生に代替わりしても人とのつながりを伝えていきたいと今年も村で実施されました。

当日は大学生によるダンスや音楽、書道などのパフォーマンスのほか、長野神楽や蕎麦の早食いなども行われ、会場は多くの人で賑わいました。

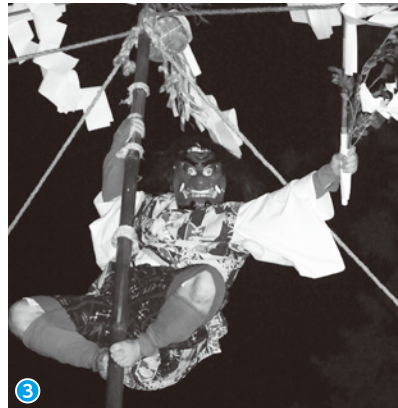
10/26 | 300年以上続く歴史の舞い  
長野阿蘇神社秋季大祭(長野岩戸神楽)



今年も長野阿蘇神社(長野)秋季大祭が開催され、長野岩戸神楽の奉納が行われました。

県の重要無形文化財にも指定されている長野岩戸神楽。熊本地震後も地域住民の思いや周囲の協力によって秋季大祭が続けられています。

祭り当日は午後5時から約4時間、10ほどの演目が奉納され、天の岩戸を開く「岩戸開<sup>いわとびらき</sup>」や、子どもと神さまが木の枝を引っ張り合う「柴引荒神<sup>しばひきこうじん</sup>」、舞い手が竹をよじ登る「天皇七五三<sup>てんのうしめ</sup>」などの演目に観客からは歓声が上がっていました。



- ① 開かれた岩戸から現れた天照大神<sup>あまのひかり</sup>
- ② 大盛り上がりの「柴引荒神」
- ③ 青竹の天辺へ上る「天皇七五三」



### 11/1 阪神タイガース入団の小川投手が村長訪問 熊本地震を乗り越えた東海大学生がプロ入団へ



吉良村長と握手を交わす小川一平投手(右)

熊本地震当時は阿蘇キャンパス1年生で、このたびプロ野球入団が決定した小川一平投手が、吉良村長を訪問し、阪神タイガースへのドラフト6位入団を報告しました。

熊本地震の発生直後には、居住していた望星寮が被災、崩落した阿蘇大橋の付近で通行車両の誘導等のボランティア活動も行っていったそうです。

182cmの長身から投げ下ろす、最速149kmの直球と130km台のチェンジアップが武器の右腕。熊本地震という逆境をバネにプロ野球に入団した小川投手の今後の活躍に期待です。

### 10/29 村内の小学校6年生が震災遺構を見学 村内5小学校連携の防災教育を実施



旧阿蘇大橋付近の現場を見学する児童たち

熊本地震の教訓を防災教育に活かす取り組みとして、初めて村内の小学生約80人が震災遺構を現地見学しました。当日は、旧阿蘇大橋付近の大規模山腹崩壊と国道325号の断層跡を見学し、役場の大会議室で現地見学した感想と今後の備えについて皆で意見を出し合うという内容でした。

参加した小学生からは、現地見学をとおして「災害時には当たり前のもが使えなくなる」、「改めて地震の怖さを知った」といった感想や、今後の備えについて「備蓄をそろえておく」、「家族で緊急避難場所を決めておく」などの意見が発表されました。

### 11/3,4 自然の中を一昼夜進む スプリントゲームスin南阿蘇



スタートに臨む参加者たち

道の駅あそ望の郷をメイン会場とする「スプリントゲームスin南阿蘇」が11月3日、4日の2日間にわたり開催されました。

南阿蘇村、高森町、御船町、西原村にまたがる総延長約120キロを自然踏破するレースに参加した18チーム60人の選手たちは、2~4人の班員で課されたスポーツをこなし、与えられた地図をもとに60以上のチェックポイントを24時間かけて通過。トレッキング、マウンテンバイク、カヤック、懸垂下降などをこなしてゴールを目指しました。遠方は福島県からの参加もあり、南阿蘇の自然を堪能され、来年も南阿蘇村での開催を楽しみにされていました。

### 11/3 秋の南阿蘇村を満喫 第5回南阿蘇村・紅葉トレッキング 山コン



自然の中でたき火を囲む参加者

紅葉で色づき始める南阿蘇村を舞台にトレッキングイベントを通じた婚活イベント「山コン」が開催されました。

今年は、メイン会場を久木野キャンプ場とし、まき割りなど新たな体験メニューを設けての開催。例年カップル成立率が高いこともあり、男女それぞれ40人の枠に対し300人以上もの応募が殺到し、参加者抽選の上での開催となりました。

今年も婚活コーディネータータレントの荒木直美さんを司会にお招きし、14組のカップルが成立。

イベント終了後はティータイム交流も開催され、カップル成立とならなかった方も含めたき火を囲み、南阿蘇の自然を満喫する一日を過ごしました。